

たまき社協だより

2013.11
No.48

編集・発行 社会福祉法人 玉城町社会福祉協議会
〒519-0433 玉城町勝田4876-1
TEL 0596(58)6915/FAX 0596(58)6916
ホームページ <http://tamasya.or.jp/>
E-MAIL tamasya@amigo2.ne.jp

たまきの元気人・すいすいキッズ・カラフルらいおんのみなさん



ALTジャン先生とハロウィンパーティーの様子

元気いっぱい笑顔いっぱい

子供や保護者の交流を大切にしたいこうと活動を開始した「すいすいキッズ・カラフルらいおん」。まもなく活動10年目を迎えます。

百獣の王ライオンもそれぞれに色、毛質、気性が違うように子供たちにもそれぞれに個性がある。どんな色にでも染まることのできる無限の可能性を持った子供たちのカラーを、ライオンのように強く引き出してあげたいという想いが、サークル名に込められています。

毎月一回、絵本や紙芝居の読み聞かせ、工作活動、また、ALT（外国語指導助手）講師の英会話や季節行事など、毎月さまざまな内容で活動しています。

地域を中心に、子育てをされている保護者同士の交流を深めませんか。また、子育てを楽しみ仲間作りのお手伝い頂ける方も募集しています。

玉城町高齢化率（平成25年9月末現在）23.2%（65歳以上人口3,621人）

※この広報は、共同募金配分金事業によって発行しています

「ふくしを支える勉強会」 ともに生きる「障がい者支援」 開く

今年度の「ふくしを支える勉強会」は9月14日(土)、自身が障がい者でありながらNPO法人ピアサポートみえの代表を務める松田慎二さんを町保健福祉会館に迎え「障がい者が地域で暮らすということ」をテーマに講演をいただきました。会場には、民生委員やボランティアのみなさんなど90人が集まり、講演に先立って伊勢落語研究会の笑しべ屋喜鯛さんの落語を聞いた後、松田さんの人生観に耳を傾けました。

講演の要旨は次の通りです。

講師 NPO法人ピアサポートみえ

理事長 松田慎二氏

プロフィール 1956年生まれ。脳性マヒにより日常生活すべてにおいてヘルパーなどの全面介助を必要とする。1982年佛教大学通信教育課程社会学部社会学科を卒業。その後、津市福祉マップづくりに関わり、ボランティアサークルを立ち上げ、車いすウォークラリー大会等を開催。2007年にピアサポートみえを設立、理事長となる。現在は、学校等を中心に講演活動を行っている。



講師：松田慎二さん

幼少期から障がいを持っている自分を母親は、周りの子どもたちと同じように遊ばせていました。不自由な手の代わりに足を使い、遊びの中に入っていくようになりました。そうすることで、小さい頃からみんなと関わることで遊びを通じ、自然と輪に入り障がいを理解してくれました。しかし、小学4年生くらいになると今まで遊んでいた友達とも遊ばなくなってしまうました。それは、彼らの遊びの範囲が広がったことが原因だったのです。

そこで、私も子どもなりに頭を使い、年下の子どもたちと遊び、時にはリーダーシップも取りました。養護学校(現特別支援学校)に通うようになりバスを利用するようになると、バス停で人目を避

けるように母親と隠れてバスを待つようになりました。

母親は、このままではいけないと思つたのか、考え方を180度変え、逆に皆の見えるところに私を置き、周りの反応が変わっていくことに、子どもながらも母親のパワーの強さを感じました。

この頃から友達関係を継続できるのは、養護学校の子どもたちとだけとなり、健常者との付き合いもなくなり、12年の学校生活で心の壁が出来てしまいました。そこには、近寄りたいたい、怖い、どのように接すればよいか分からないという気持ち芽生えていました。

これを払しょくしようと、大学の通信教育課程を受けました。自らの考え方によつて行動していく。いよいよ自立生活の始まりを迎えました。

卒業後は、津市のボランティアセンターからバリアフリーのマップづくりをやらなにかとアドバイスをもらい、会を設置し代表となりました。

活動のさなか、視覚障がい者と知り合うことになりました。そのとき、はじめて気の毒だなと人をそのような目で見てしまいました。そう思った自分にショックを受け、同情されるのが嫌だと思つてきたのに、いつしかそうでなくなつた自分がそこには居ました。

そこで、気付いたのです。最初のきっかけが興味本位や同情であっても、その人とかかわりが深まることで関係性も変わっていくことを。同情してはいけないのではないかと思うことで、関わられなくなってしまう。関わってもらうことが大事なのです。

【対談】

進行 玉城町社会福祉協議会局長 西野公啓

中世立夫氏

宮の里ミタスメモリアル
ホーム生活介護主任

プロフィール 名古屋学院大学を卒業後、児童保育や母子生活支援施設等、児童福祉分野で15年。その後、障害者支援施設である宮の里に勤められ、今年で10年目を迎える。社会福祉士、精神保健福祉士、介護福祉士の資格を持つ。

施設における課題として、利用者の高齢化が挙げられます。医療を必要とする人が増えてきています。また、在宅の通所利用者には、親の介護が難しくなり、ショートの利用が増え、入所を希望されても常に満床であるため、待機者へどのように支援するのも課題となっています。

宮の里と聞いて、知ってもらっている方は見えますが、なかなか関わっていただくことはないのです。みなさんもつと知ってもらえるよう、町民として地域に出ていき、施設の見えない壁を取っ払っていきたいです。

西川恒夫氏 玉城町手をつなぐ親の会 会長

プロフィール 障がいのあるおやさんの保護者として20年近く会長を務め、講演や知的障がい者の余暇活動を支援する「シブスハーモニー」の事務局も任じている。町の自立支援協議会会長。

知的障がいのある子どもを持つ親たちが集まり、会員同士の交流事業や情報交換、勉強会を行っています。その中で卒業後の働く場がないことから、夢工房たまきを立ち上げ、健常児との交流会などボランティアの育成にも関わってきました。

町の自立支援協議会では、就労の場の確保や暮らしの場づくり、成年後見制度の勉強会などが話し合われています。成熟した地域にするためには、やはり関わり合うことが大事です。

松田慎二氏

障がいのある人の人生は、親の生きていく間は、地域で暮らせるが、親亡き後は、介助なしに地域で暮らせず施設へ入所となります。二者択一しかないのです。

グループホーム・ケアホームなど、より家庭的に地域で生活が継続できるように保障してもらえ、これもこれからは必要です。

重度障がい者が地域で暮らし続けることが社会資源となり、誰にでも優

しい地域が繋がっていくのです。



左：中世立夫さん、右：西川恒夫さん

【参加者からの声】

アンケートからは、すごく良かったとの声が圧倒的に多かったです

・松田さんの話は、体験から説得力があり、よかった。自分の障がい者に対する気持ちも考えさせられた。

・同情されることが差別だと思っていました。同情から物事が始まる。何でもない声掛けで心が開く。共に生きるために必要。心にしみました。

【玉城町内の障がい者支援施設】

障がい者総合支援法に基づいた就労及び生活支援の施設です

●宮の里ミタスマメモリアルホーム

身体に重い障がいを持つ常時介護の必要な人達の生活施設として、三重県南勢地区に初めて設けられた障がい者支援施設です。

施設内は、個々の必要性に応じた部屋が50床と、通所・ショートステイの受け入れも行っていきます。

機能訓練が出来るリハビリも兼ね揃え、幾つかのクラブ活動もあり、入所者が思い思いの活動に取り組めるようになっていきます。町内との交流にも積極的に、町内イベントへの参加や町消防団との防災訓練なども行っています。

●南勢就労支援センター

宮の里の隣接した建物で、就労意欲のある方に少しでも多く働ける場所の提供を主眼とした施設です。

町内企業からの依頼や地元的水果物を使った無添加のジャム作りが主な作業になっています。

●たまき末芳園

一般就労が困難な障がい者を対象に、機械部品などの下請け、木材アクリル板へのレーザー加工と特殊印刷加工、味噌作り、空き缶のリサイクルを行い、就労の機会を提供しています。

●夢工房たまき

常に介護を必要とする人に、昼間入浴・排せつ・食事などの介助を行うとともに、創作的活動または生活活動の機会を提供します。

創作的活動では、さをり織や木工などものづくりを行い、日常生活のリズムづくりとして取り組んでいます。

【町内の障がい者団体】

当事者の会として設立し、社会福祉協議会が団体支援の窓口となっています

●玉城町身体障害者福祉会

会員172名。

町内の身体障がい者の方々が、積極的な社会参加と自立のため、さらには会員相互の親睦と福祉の増進を図ることを目的とした団体です。

自分たちで勉強会を行ったり、町内・町外の交流事業（グラウンドゴルフ大会）などを行っています。

●玉城町手をつなぐ親の会

会員23名。

障害のある子をもつ親同士が、日頃の悩みの共有や情報交換また、会員相互の親睦を図り、福祉の増進を図ることを目的とした団体です。

親が抱える様々な葛藤の中で、より近い仲間との時間を大切にし、子供たちの成長と一緒に見守っています。

防災ボランティア活動報告

防災・災害ボランティアでは、この4月から6月の元気ですたまきまつりでの啓発活動、防災クッキングの取り組み、田丸小学校夏休み親子行事への協力などに取り組んできました。

【元気ですたまきまつり】

今までに行ってきた活動の中からみなさんに伝えられることをやってみようと、転倒防止のモデルルームをつくり、食器棚や冷蔵庫などの転倒予防、ガラス戸には、飛散防止フィルムを貼り実演しました。

また、非常持ち出し品についてチェックリストを作り、備えについての啓発を行いました。

【防災クッキング】

いざという時に役立つ非常食の勉強会で、ビニール袋を使って、カレーライスを調理しました。

ビニール袋を二重にして、お米と水を入れ、真空に結んでお湯の中にドボン。カレーも材料を小さめに切り、シーチキンを使い、材料を入れて、真空にし、お湯の中に入れます。これで、ご飯も炊けて、カレーも出来上がるのです。

そして、ビニールに入っているの

そのまま広げればお皿も汚さずに盛りつけられます。

楽しく、防災に関心を持つきっかけに、取り組んでいきたいと思えます。



ビニール袋でご飯を炊く様子

【田丸小学校親子分団行事への協力】

夏休みの分団行事の中で防災活動を体験していただきました。

内容には、防災クッキングでご飯炊きと身近なものを使った防災グッズづくりです。

夏休みを活用して、親子で防災に関心を持つってもらうにはよい機会になりました。

参加の子供たちは「お米を洗わずに炊いても美味しかった」「新聞紙や風呂敷など身近なものが役立つのにびっくりしました」など感想をいただきました。

赤十字講習会の案内

いろいろな自治区で自主防災が立ち上がり、活動を始めています。

そこで、地域で活用できる日本赤十字社三重県支部の取り組みについて案内します。

三重県支部では、健康で安全な生活を送るために、救急法・健康生活支援講習（災害時高齢者支援講習）・幼児安全法等の講習会を行っています。

これらの講習会は、短時間（2時間程度）で開催でき、誰でも受講できるもので、希望の講習会があれば赤十字指導員を派遣し、地域で行うことが出来ます。

講習会の費用は、原則無料で行われます。自治区では、受講者を20名以上集めていただき、会場の確保が必要になります。申し込みは、

①希望の内容を三重県支部事業推進課（TEL059・227・4145）で確認下さい。

②2か月前までに開催希望日を三重県支部事業推進課にご連絡下さい。

③日程が決まりましたら、地域の赤十字窓口（玉城町社会福祉協議会窓口）へお申し込みください。

④その後、指導員が詳細な打ち合わせを行います。

これらの講習会は、5月に募金のご協力をお願いする赤十字の活動です。いざという時のために、講習会をご活用ください。

【各講習会のご案内】

A 救急法

- ・心肺蘇生法とAEDの取扱
- ・止血の方法、ケガなどの手当 ほか

B 健康生活支援講習・災害時高齢者支援講習

- ・高齢者の健康と安全
- ・災害について ほか

C 幼児安全法

- ・子供の事故予防と手当
- ・子供の病気と手当

D 防災講習

- ・非常食炊き出し実習
- （ハイゼックスという袋を使っての炊き出し）



救急法

元気です たまき委員会

ふだんのくらしのしあわせ

今年度、元気ですたまき委員会では、
①あいさつ強化デーへの各団体協力
依頼

②小学校区での座談会実施

③聞き取りアンケート

④住民が気軽に集まれる場づくりの
検討

⑤ボランティア新規人材発掘の検討、
実施

の5項目を計画の中で進めていくよ
う掲げています。

そのひとつ、聞き取りアンケートを
6月に行いました元気ですたまきま
つりで実施しました。

会場では、10代から80代、119名の
幅広い年代の方々にご協力いただき、あ
いさつ・健康観・町のこと・地域のこと
など10項目についてお伺いしました。

なお、アンケートの集計は、前号に
掲載しています。

まつりに参加いただく方は、比較的
町に対して好意的な方が多くなるの
は必然なことかも分かりませんが、「こ
の町が大好き」という方が大半を占め
ていることを調査にあたった委員より
報告いただきました。

委員会の中では、この好きの気持ち
の大きさが地域のパワーとなって活か

されるよう、今後計画している座談会
の中で話し合いに活かしていきたい
と考えています。

また、要望があがったものも、実現
できるように話し合っしていきたいと思
います。

町民体育祭 DE フォークダンス

2年前から「町民体育祭」の競技と
して、コミュニケーションアップを啓
発する内容のプログラムを提案し、競
技に参加しています。

今年度は、懐かしい方には懐かしい
「フォークダンス」を行いました。

曲は、「マ
イムマイム」。
手を取りあ
つて、一つの
輪になり、踊
る曲です。

当日は、秋
晴れの下、参
加者がひと
つになり、笑
顔あふれる
プログラム
となりました。



婚カツ実行委員会

くおせつkaiたまき

元気ですたまき委員会では、以前
から若者の交流の場がないなど、若
者支援の話があがっていました。

そこで、今回、若者支援の実行委
員会を元気ですたまき委員会から
立ち上げました。

将来的な定住を見据えて、結婚を
希望する方々を支援するため、出会
いの場を設定し、地域の活性化を図
る、若者支援を目的としたものです。

”御節介”と言われながらも、
きっかけがないと進まないもの。
初めての企画も出来ました。

対象は、町内在住・在勤者に加え
て、玉城町に将来的に住みたい方に
もお声掛けします。内容については、
本号最終ページに掲載してあります。

『福祉・介護の 就職フェア』の お知らせ

福祉・介護の仕事をお探しの
方を対象に、福祉の事業所個別
相談会とお仕事総合相談会を開
催します。

日時：平成25年11月9日(土)

午前10時30分～12時30分

「三重県福祉人材センター
総合相談会」

午後1時～4時

「福祉・介護の就職フェア」
会場：松阪商工会議所 大ホール

(松阪市若葉町161-2)

対象：福祉・介護の職場に就職希望、
または関心のある一般・学生
(高校生以上)

※事前申込は不要です。

※託児室あり(要予約)

【お問合せ】

三重県社会福祉協議会

三重県福祉人材センター

TEL 059・227・5160



10月1日 赤い羽根共同募金 街頭募金のご協力のお礼

10月から全国一斉募金活動が展開され、自治区をはじめ、職場等各所で皆様にご協力頂いております。初日の10月1日には、街頭募金を町内5か所で実施し、

106,120円

募金が寄せられました。

通勤、通学中また買い物に來られた足を止めて、多くの方々にご協力いただき、ありがとうございました。

また、12月8日(日)には、「歳末たすけあい運動」の街頭募金を予定しております。

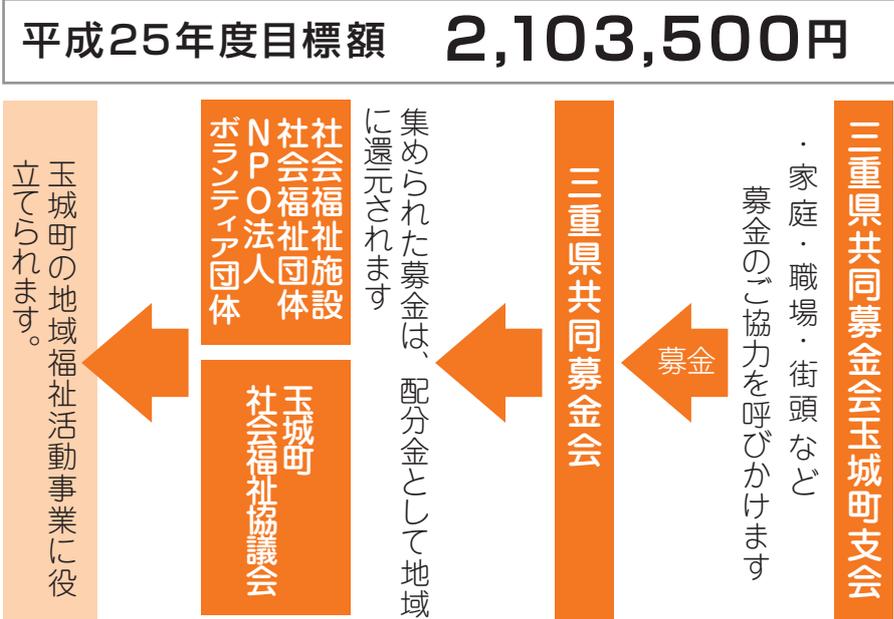
歳末で集められた募金は、ひとり暮らし高齢者安否確認事業(歳末事業)に活用されます。

あたたかいご支援、ご協力よろしくお願い致します。※自治区のみなさまにご協力をお願いさせていただきます。後日改めて報告させていただきます。



共同募金の流れ

募金していただいたお金は、三重県共同募金会を通じて約70%が玉城町に配分され、ボランティア育成事業や一人暮らし高齢者への給食サービス、障がい者(児)の地域交流など町の福祉のために使われます。また、残りの30%は、県域での活動や災害時の備えとして使われ、特に災害時には、地域を超えて被災された方々を支えあうしくみにもなっています。



平成25年度

シニアボランティアセミナー 「いきいき長寿塾」

開催のお知らせ

三重県社会福祉協議会では、シニアの方の健康づくりや生きがいづくりを推進し、ボランティア活動を醸成することを目的に、伊勢志摩地域にて「シニアボランティアセミナー」を5日間の日程で、次のとおり開催しますのでご案内します。

第1回目	平成25年	12月6日(金)	13:00~15:20
第2回目		12月13日(金)	13:00~15:00
第3回目		12月20日(金)	13:00~15:00
第4回目	平成26年	1月10日(金)	13:00~15:00
第5回目		1月17日(金)	13:00~15:30

会場：鳥羽市保健福祉センター
ひだまり(鳥羽市大明東町2・5)及び鳥羽市商工会議所会館 かもめホール(鳥羽市大明東町1・7)

受講対象：概ね60歳以上の三重県内に居住する人で、これから地域でボランティア活動や健康づくり、生きがいづくり等の活動を希望する人

参加費：無料
定員：50名

申込方法及び申込締切
「受講申込書」に必要事項をご記入の上、郵送またはFAXにて、平成25年11月29日(金)本会必着でお申し込みください。

【お問合せ】

三重県社会福祉協議会 福祉研修人材部

TEL 059・213・0533

第10回 「玉城町社会福祉大会」開催

「しあわせの一行詩」募集

開催日時 平成26年 2月11日(祝・火)
9:00~12:00予定(雨天決行)

場 所 玉城町保健福祉会館

内 容 ・社会福祉功労者表彰等
・『福祉の作文』発表(小・中学生)
・福祉協力校の活動発表
・福祉講演

「そっとやさしく〜結〜」 長島りょうがん



昨年の様子：講演 中村鳥羽水族館名誉館長

～しあわせの一行詩を募集します～

あなたが“しあわせだ”と感じた時を教えてください。いろいろなしあわせの形を共感し、その日常の大切さへの気づきやしあわせのあり方について想いを寄せていただきたいと思います。

※健康しあわせ委員会とのコラボレーション事業です。

募集対象 小学4年生以上ならどなたでも(但し、町内在住・在勤者)。応募作品は、50文字以内で本人が創作した未発表のものに限ります。

応募方法 所定の場所に応募箱を設置しますので、応募用紙にて受け付けます。その他に、ハガキ・FAX・メールにて受け付けます。

募集期間 平成25年10月22日(火)～平成25年12月26日(木) 厳正な審査のうえ優秀作品を決定します。入賞者には、平成26年2月11日(祝・火)の大会内で表彰いたします。(記念品進呈)

★募集箱設置場所 (町内7か所)

玉城町社会福祉協議会(玉城町保健福祉会館)・玉城町役場・アスピア玉城・中央公民館・玉城病院
・グッディ・Aコープ

きりとり

『しあわせの一行詩』応募用紙

氏 名	住 所	電 話
作品 (50文字以内)	(例) 孫のはじめての「ばあば」言えたね。 忘れないよ。	
作品への 思い	(作品をつくるにあたってのエピソード、思い等を具体的にお書き下さい)	

※一行詩は、広報などで使用させていただくことがあります。記載された個人情報は、適正に管理し、「一行詩の募集」に関する連絡のみに利用させていただきます。

婚カツ♡

クリスマスイベントセミナー開催

主催：おせっkaiたまき（事務局：玉城町社会福祉協議会）

あなたのLOVEな出会いを応援します。

なかなか、出会う機会がない。場がない。真剣なお付き合いに発展しない……

などの思いをお持ちの方をお手伝いする出会いのイベントを開催することとなりました。

若者支援・町内定住を目的に開催します。

待っても始まらない……まずはご参加ください。

♡ 日 に ち ♡

平成25年12月22日(日)

♡ 内 容 ♡

1対1の自己紹介トークタイム

♡ 時 間 ♡

13時～16時(予定)

クリスマス企画

フリートーク・意中の相手を決定♪

♡ 会 場 ♡

町保健福祉会館 ふれあいホール

～募集要項～

- ★参加資格 25歳～50歳までの独身の方
町内在住・在勤者、将来玉城町に住みたいと思っている方
- ★募集人数 男性25名・女性25名
- ★申し込み方法 専用用紙でFAXかメールにて下記までお申し込みください。
- ★申し込み期限 12月6日(金)

※詳しくは、広報たまき12月号挟み込みもしくは、チラシでご確認下さい。

社会福祉法人 玉城町社会福祉協議会の情報を発信中!!

- ・ホームページ <http://tamasya.or.jp/>
- ・ブログ 「元たま日記」
- ・フェイスブック

覗いてみてください(^o^)/



身近な社協相談窓口ご案内

心配ごと相談

毎月10日、20日、30日 13:00～15:00

玉城町保健福祉会館にて 予約不要

相談員：民生児童委員、人権擁護委員、
行政相談員

ご寄附ありがとうございました。

7月～9月

元気バス募金箱様…………… 57,200円

社会福祉協議会では、随時、社協会費を受け付けております。
ご協力よろしくお願い致します。